

第2回 中学校 VCミーティング開催される

12月10日(火)午前、市役所2階で第2回中学校ボランティアコーディネーター(以下「VC」)ミーティングが、担当校長である木曾中学校の岩田校長や13校16名のVCの参加をいただき、開催されました。

各校から、補習学習、部活の指導者、職場体験等の報告がありました。また、新たに補習学習に取り組む学校が増え、人材確保の方針などの情報提供がありました。

これらの報告を踏まえて、ボランティアに対する指導・教育のことが課題として話し合われました。話し合いの中で、ボランティアの方が中学校と小学校とを兼ねることが有効であることを感じました。

中学校のVCの活動が活発になってきたと同時に、充実したミーティングになってきたと思いました。2月の後半に、もう1回開催させていただく予定です。宜しくお願いします。



キャリア教育 町田第三小学校 6年生 12/6

町田第三小学校の6年生は、職業についての視野を広げるために、音楽家・川島由美さんをゲストティーチャー(以下「GT」)としてお招きし、歌とお話を聴きました。川島さんは、現在、音楽大学や劇団などで歌唱指導をしたり、コンサート活動を行ったりしています。また、東京都へブーンアーティストのライセンスを持ち、新宿駅や町田駅でも歌うほか、被災地でも歌っているプロの音楽家です。今回GTとして招かれたのは、6年生が2年生の時に、川島さんがスイミーの歌を届けたことがきっかけとのことでした。授業では、自らの進路について歌をまじえながら、家族の応援のもとに4歳からピアノを習い始めたこと、中



学校では砲丸投げ、高校では円盤投げの選手だったこと、音楽系の大学を選ぶときに大きな決断と苦労があったことなど語ってくれました。歌は、ユーミン、讚美歌、日本のうた、ミュージカル、スペイン民謡などは幅広く披露。質問タイムで、音楽家はどんな人が向いていますか? に対して、「興味が持ち続けられること」という答えがありました。職業選択は、その職業に興味を持ち続け、どれだけ情熱を注げるかの覚悟を持つことだというメッセージが伝わってきました。

小中合同地域清掃活動

木曽境川小学校4年生・木曽中学校2年生 11/29

今年で6回目の木曽境川小学校と木曽中学校との合同の地域清掃（小中一貫行事）が行われました。当日は、中里橋団地自治会、上宿自治会、木曽南団地自治会、境川団地自治会の4自治会から、21名のボランティアの方々にご参加いただきました。小中3名のVCの、学校・地域のコーディネートによるものです。

児童・生徒は手に手に竹箒、熊手、火ばさみ、ボランティア袋を持って落ち葉やごみの回収に真剣に取り組みました。子供たちからは、予想以上にゴミが多かったという声があがりました。今後はきっと、ゴミを捨てない子になることでしょう。また、ボランティアの気持ちも理解できたように思います。



豆腐づくり 小山中央小学校 3年生 11/28

小山中央小学校では、GTに頼らず、担任・保護者・VCが「チーム豆腐」を結成し、自分たちで作り方を学び豆腐作りの授業を行いました。VCは担任の要望を受けてずいぶんGTを探したのですが、近隣では見つからなかったため近くの学校の校長先生に教えてもらいました。児童が収穫した「フクユタカ」という大豆も入れて、保護者・ボランティア15人の指導を受けて作りました。学校近くの湧き水に20時間浸した大豆をミキサーにかけ、それを焦げないようにへらで回しながら煮ます。それを絞って豆乳にしたものをなべにかけ75

度になったらにがりを入れます。固まるかなと心配しつつ、しばらくして十文字にしたガーゼの上にお玉で載せ、ガーゼをかぶせて待ちます。ほとんどの班が、豆腐になっていました。大豆の香りがするおいしい豆腐になりました。授業を通して、担任の頑張りが際立ちました。自分たちが学んできたつくり方を、ボランティアの方にも手伝ってもらい児童も一緒に感動を味わう楽しい授業でした。「チーム豆腐」は、出前授業もできそうでした。



うどんづくり 鶴川第一小学校 2年生 11/22

以前から、参観したいと思っていた10年ほど続いている鶴川第一小学校のうどん作り。自分たちで育てた小麦の地粉と市販のものを混ぜて、アレルギー対応の粉も別に準備して、それに水を少しずつ混ぜてこねるところから始まりました。91歳の方を筆頭に、地域の福寿会の方9名と保護者30名ほどの指導の下、うどん作りは進みました。地域の高齢者と若い保護者との不思議な共同作業が、新たなコミュニケーションを作り上げているとも感じました。

水を粉になじませたら、ビニール袋に入れたものにごさをかけ、その上から「おいしくな一れ」の掛け声とともに足で踏みます。手を持って踏んだり、強く踏むためだっこやおんぶされたりしていました。踏み終わったらグループごとに製麺機で伸ばします。何回も繰り返していくうちにぼりぼりのかたまりが、薄く滑らかに干瓢みたいに長くなりました。それを製麺機で別の機能で細く切っていきました。かなり細くもできます。これが、町田古来の伝統食「細めのうどん=そば」かなと思いました。それを持って、体育館から家庭科室に移動すると、そこで待っていた別の保護者にゆでてもらい、だし汁をかけて「いただきます」。予想以上においしくて、町田のうどんを堪能しました。ごちそうさまでした。



アスリートによる指導 南成瀬小学校 5・6年生 11/26

南成瀬小学校のマラソン期間を間近にして、アスリートによる指導がありました。指導をしてくださったのは、かつて箱根駅伝で優勝し、ロサンゼルスとソウルオリンピックでも日本代表選手として活躍した新宅雅也氏です。新宅氏は同校の元保護者ということもあり、御多用にもかかわらずかけつけてくれました。

授業の前半では、陸上競技ではメンタルがものをいうこと、あきらめないこと、リラックスすること、リズムを一定に保つことが大事であることなどの講義があり、後半には前傾姿勢のとり方や腕の振り方など実際に体を動かして練習をしました。短い時間でしたが、多くの児童がマラソンの取組に向けて、モチベーションを高めていました。



柔道補助者 木曾中学校 1年生 11/25

木曾中学校では、11月中に、保健体育科で柔道(女子)の授業がありました。外部から女性の「柔道補助者」を招いて集中的に柔道の授業を行い、以後、市内中学校の4校が「柔道補助者」をとり入れた柔道授業を順次実施していくことになっています。このことに関して主管になっているのは指導主事ですが、人材をさがしていく上で学校支援センターが若干かかわりましたので、参観・取材しました。1年生



の女子は、柔道補助者の手本を見て学ぶという形をとりながら、あいさつ、座り方、受け身、足のはこび方など柔道の基本を学習しました。女子柔道の指導にあたっては女性の指導者を希望することが増えてきました。人材をさがしていく上で、学校支援センターが少しでも力になればと思っています。

ギャラリー ウォーク 金井中学校 11/21



金井中学校では、地元商店会の協力のもとに、「ギャラリー ウォーク in 金井」を行いました。同校の「ギャラリー ウォーク in 金井」は、1年生や地域の方々が描く絵手紙を学校近くの26ヶ所に展示し、多くの方に鑑賞していただきながら交流を深める金井中としては3年目となる取組です。

展示に協力して下さった事業所にご挨拶や感謝の気持ちを伝えるため、1年生が各所を訪ねます。

その日に合わせ、学校支援センターが取材したのは、同校VCの助力もあって今年度新たに展示会場になった有料老人ホームでした。訪問して気付いたことは、絵手紙の展示してある空間には、心和む雰囲気やあたたかいまなざしが感じられたことでした。今後のさらなる広がりが期待される「ギャラリー ウォーク in 金井」でした。

【事務連絡】

【感謝状贈呈式実践発表校決定】

++これらの方々すべての同意が、12月13日の定例教育委員会でありました。これで決定です。該当校には同意書や地図を送付しますので、記入押印の上、学校支援センターに返送してください。当日の事例発表は、鶴間小学校、南中学校、小川小学校にお願いしました。参加希望調査を行いますので、2月4日(火)は、新会場「生涯学習センター7階」のホールにお越しください。

【文科省事業調査のご準備を】

年度末に毎年行われている文科省の事業調査が、今年度も行われるものと思われます。新年を迎えたら、昨年度書類を出して、今年度の数字を計算し始めてください。学校によって、副校長が中心に進めたり、VCが進めたりしています。それと、事務の協力がどうしても必要です。特に、今年度からVCになられた方にとっては、戸惑うと思います。今からご準備ください。

◇12/14(土)開催の教育支援コーディネーター・フォーラムに出展した団体一覧をVC宛に同封します。詳しく知りたい方は学校支援センターまで問い合わせてください。